

- 協働のマニュアルとは、「協働の指針」の考え方を基に、実際の活動に当てはめたときにどんな点に気を付けたらいいのか取り組みの段階（STEP1～7）ごとに解説したもの。
- 3年ごとにマニュアル全体を検証し、必要な見直しを行う。

STEP 1

発意

発意、こんなことに気づいたら～何とかしたい！～

…P2

- ◆人・生活・まちなどへの思い・気づき

STEP 2

つながり

「つながり」を求めて、周りに話してみましょう～どう思う？～…P2～3

- ◆身近な場で、気軽に思い・気づきを語り、共感へ
 - ①誰かに話す（隣人・知人・さまざまな団体・行政）
 - ②「やってみようか」と思い立ったら始める

STEP 3

共有

共有しましょう～みんなで、なにになに？～

…P4～6

- ◆多様な意見を集約し、課題・目的などを共有
 - ①出だしが大事
 - ②最初に協働の指針を共有
 - ③提案者が提案理由などを説明
 - ④話を進めるときの注意点
 - ⑤課題を共有
 - ⑥まずは情報を集めて分析
 - ⑦問題はまちの中にある

STEP 4

協議

みんなで協議しましょう～どうする？～

…P7～8

- ◆課題解決のための方策、実施の形態や体制、協働の担い手、役割分担、資源などを協議
 - ①集まった情報や課題を共有
 - ②方針
 - ③役割分担
 - ④活動を記録
 - ⑤進め方を検討

STEP 5

事業計画

事業計画を作りましょう～こうしよう！～

…P9～10

- ◆具体的な活動を計画
 - ①方針
 - ②事業のスケジュール
 - ③役割分担を決定。

STEP 6

実践

実践しましょう～それではやってみよう！～

…P11

- ◆役割分担などに基づき、各主体が活動を実践
 - ①常に協働の原則を意識し、力を合わせる

STEP 7

実践の評価

実践の評価を忘れずに～まとめましょう！～

…P12

- ◆活動・事業内容をふりかえり、効果と課題を共有。必要に応じて事業を見直し
 - ①評価にあたっての注意点
 - ②事業が一段落したとき、または事業が終わったときに評価

→評価の後は、「継続」か「終了」か「休止」

…P13～14

最後が大事、事業と活動を公表しましょう＆出合いを大切に

…P15